

バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】庄原市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
17	2007.1.31			広島県	庄原市	43,151	1,246.60
構想の要約		本市の主要産業である農畜産業の生産活動から発生する資源及び豊富な森林資源の有効活用を図るため、①土づくりを基本とした資源循環システムの構築、②木質バイオマスを有効に利活用した資源循環システムの構築の2本を柱としてバイオマス資源の有効活用に取り組む。					
構想に盛り込まれた事業		①土づくりを基本とした地域循環システムの構築 ②木質バイオマスを有効に利活用した資源循環システムの構築 ③関連施設整備計画					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	
		バイオエタノール化	○
		その他()	

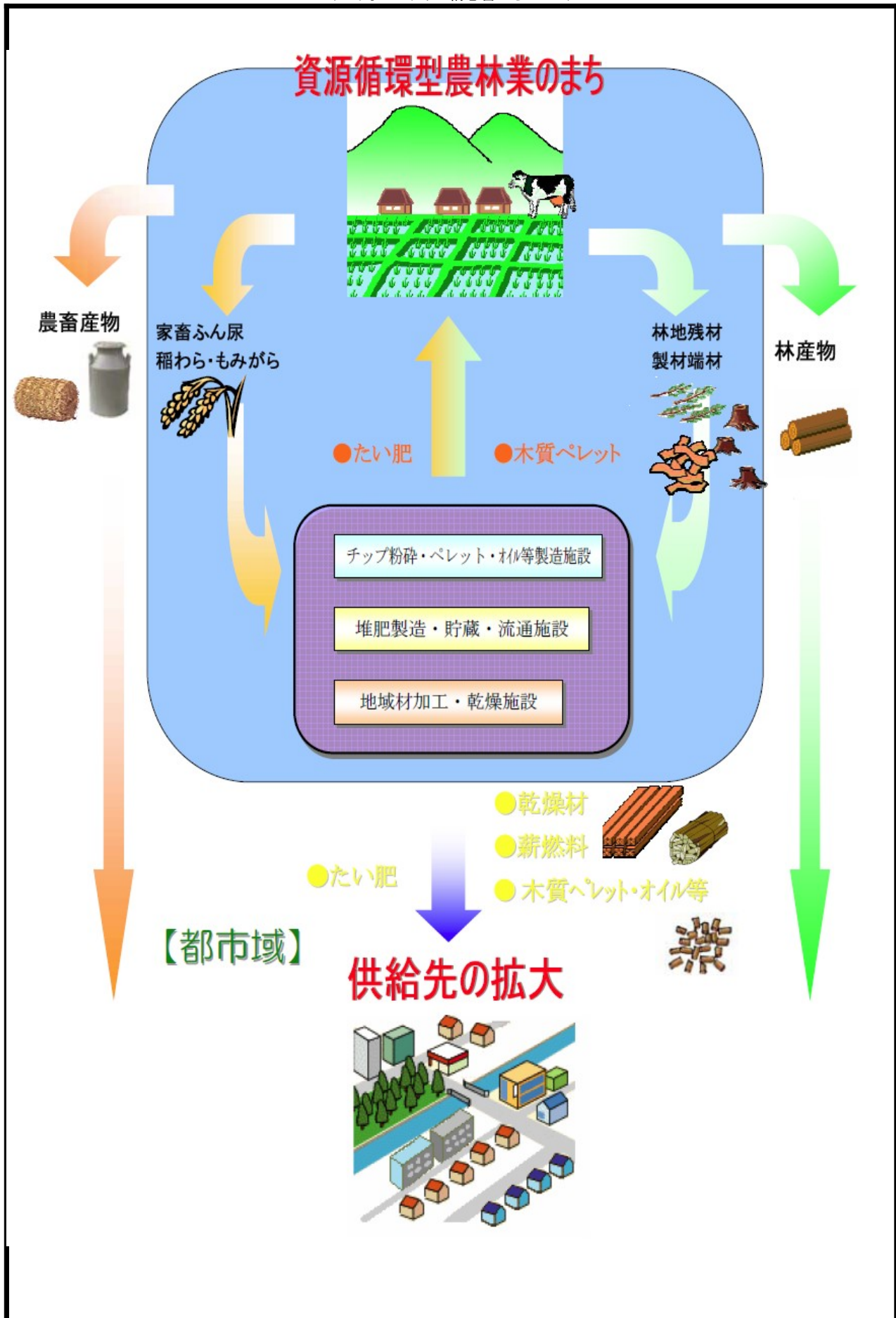
バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成19年-20年度、(株)ジュオン、庄原市、木質バイオマス(間伐材等)木質ボイラー施設の整備
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成20年度-、(株)グリーンケミカル、間伐材、林地残材 木質バイオマス利活用プラントの整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量(t)	変換・処理方法	仕向量(t)	利用・販売	利用率(%)
I 廃棄物系バイオマス					91.71%
①家畜ふん尿	234,993	堆肥化	211,494	農家	
②食品廃棄物	4,513	堆肥化	23	一般家庭	
③製材系バイオマス	12,815		12,815		
オガ粉・ダスト・カンナ屑	730	畜産敷料	519	畜産農家 (一部有償)	
		ペレット燃料	211		
パーク	11,478	畜産敷料・堆肥化	5,307	畜産農家 (一部有償)	
		ペレット等燃料	6,171		
端材	607	燃料	133	家庭・無償	
		薪・チップ・ペレット燃料	474		
④建築発生木材	3,094	パルプ・ボード等	2,785		
⑤下水汚泥	225	堆肥利用	19	農家	
II 未利用系バイオマス					44.37%
⑥間伐材	5,752	用材	706		
		用材・パルプ材、抽出オイル・エタノール・ペレット・チップ燃料	1,750		
⑦林地残材	9,066		3,896		
針葉樹	3,959	抽出オイル・エタノール・ペレット・チップ燃料	1,750		
広葉樹	5,107	薪燃料の生産	146	事業者 一般家庭	
		薪・チップ・ペレット燃料	2,000		
⑧もみがら	2,269	畜産敷料 堆肥等農地還元	2,133	畜産農家 農家	
⑨稲わら	17,963	飼料・畜舎敷量等	7,186	農家	

バイオスタウン構想概要図
(バイオスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--